

MMU SHiP

宮崎公立大学の今を伝える

エムエムユー
シップ

vol.12

2018. March

学生企画 1
MMUって何？

学生企画 2
WHAT'S IN YOUR BAG？

KYO-SHIP
視界よっし！
@MIYAZAKI
CIRCLE de GOSHIP
MMU NEWS
いいだしっぺ
未来のCompass

巻頭
特集

『基幹演習B』の全体発表会を
レポート！

『基幹演習』 年間の流れ

前期 4月～7月

基幹演習A 全15回

学生は8つのゼミに分かれ、1年を通して同ゼミメンバーで課題に取り組みます。前期は全ゼミ共通となる2つのテーマから、決められた課題を与えられます。

全体ガイダンス

外部講師による講話

地域で活動している人を招いて、地域をテーマにした講話をしてもらいます。

グループワーク

ゼミごとに、講話のテーマに基づいて与えられた具体的課題についてグループワークを行います。各ゼミ内でさらに4～5人の小グループに分かれ、ディスカッションを行い、具体的な課題の絞り込みや解決のためのアイデアを考案。発表に向けて準備をします。

ゼミ別発表会

グループワークでまとめた内容について、ゼミ別に発表会を行います。

後期 9月～翌年2月

基幹演習B 全16回

後期は自分たちで課題を発見すること、現地視察やインタビューなどを行うことでより本格的に考察することが求められます。最後には、全ゼミ合同の発表会を行います。

全体ガイダンス

外部講師による講話

2ゼミごとに地域で活動している人の講話を聞き、それを参考に具体的課題を自分たちで見つけ出します。

グループワーク

図書館やインターネットを利用した文献検索、現地視察、インタビューなどのリサーチ、ディスカッションを通じて、解決のためのアイデアを考案。発表に向けて準備をします。

ゼミ別発表会

グループワークでまとめた内容について、ゼミ別に発表会を行います。

全体発表会

各ゼミから選出された、特に優秀な計8チームが、全ゼミ合同の全体発表会で発表。質疑応答、意見交換などを行い、投票によって最も優秀なチームが選ばれます。

巻頭特集

『基幹演習B』の 全体発表会を レポート!



今回の特集では、これまでのMMU SHIPではなかなか掘り下げることができなかった本学の講義の内容について紹介します。クローズ・アップするのは、年間を通して開講する2年次必修授業『基幹演習A・B』。その名の通り、大学生に必須となる思考やコミュニケーションなど、研究の枝葉を広げていくための“幹”となるスキルを培う演習です。学生自ら地域の課題を見つけ出し、グループワークを通して解決策を模索します。2月某日、選抜された8組のチームがステージに立ち、研究の成果を発表する「全体発表会」が行われ、投票によって特に優秀なチームが選ばれました。その模様を、各チームの研究内容と共に発表順にレポートします。

発表の順番は
クジで決めます!

梅津 顕一郎 准教授

2位タケ いい国作ろう農業大国!!

〈課題〉
宮崎市では現在、後継者のいない農家の割合は全体の44.4%にのぼり、このままでは農業従事者がいなくなるといわれている。農業に対する「収入が低く、安定していない」「大変そう」などのマイナスイメージを払拭し、農業従事者を増やすにはどうすればよいか。

一人一人がビジネスとして躍動していくことが、今後の農業を支える鍵です!

〈課題〉
他世代に比べて経済的に余裕があり、退職後時間に余裕のある70歳以上のシニア世代で新婚旅行で宮崎に訪れたことがある有配偶者にもう一度足を運んでもらい、当時の気持ちを思い出してもらおうと同時に、今の宮崎を知ってもらいたい。

2度目の「新婚旅行」をぜひ宮崎で!

〈課題〉
二度目の「新婚旅行」をぜひ宮崎で!

〈解決策〉
①法人化の促進
一口に農業といっても、資源の仕入れや生産地拡大への技術開発や商品開発、物流や営業などの分野がある。これらをビジネス分野と関連させて法人化することで、生活資金の定期化・定額化、福利厚生の実充、経営継承の円滑化が実現し、マイナスイメージの払拭や、農業従事者の増加につながるのではないかと期待できる。

②県内外への情報発信
宮崎県産の農作物にQRコードを貼り、宮崎の農業について、法人化のメリットなどの情報を県内外の若年層や転職希望者へ発信。これにより、県外からのU・I・Jターナーの増加、法人農家の増加、農業関連就職者数の増加が期待できる。

③歴史・クリエイティブプラン
皇宮神宮／宮崎神宮／青島神社／鶴戸神宮／西都考古学博物館

④自然・モノづくりプラン
フローラ／ンテ宮崎／生駒高原／高千穂牧場

⑤自然・モノづくりプラン
フローラ／ンテ宮崎／生駒高原／高千穂牧場

さらに高齢者の健康や身体能力などに配慮し、「あ・える倶楽部」などの介護旅行サービスや車椅子が積める「JPNタクシー」などの移動手段を使うことを提案した。

3 宮崎の歴史と文化財 ～埋蔵文化財に焦点を当てて～

〈課題〉
地中に埋まっている土器や石器、竪穴住居等を指す「埋蔵文化財」。その認知度の低さを解消するにはどうすればよいか。

〈解決策〉
認知度の低さの原因として、「地味」「埋蔵文化財センターなどの施設へ行くきっかけがない」「興味を持たれていない」「広報不足」の4つが挙げられると考えた。そこで、まずは私たち大学生が身近にある埋蔵文化財を知り、興味を持つことが、認知度を高めるための第一歩であると考え、生目古墳群、下北方古墳など宮崎公立大学周辺の文化財をリサーチし、学生向けに紹介する「文化財マップ」を作成した。

後世に伝えていくのは私たちです



4 宮崎の児童虐待への 対策・対応

〈課題〉
宮崎の児童虐待に対する宮崎市や児童相談所（児相）の取り組みの改善点と、私たち学生にできることは何か。

まずは、私たちが児童虐待の現状について知ることから!

〈解決策〉
宮崎市では、行政がさまざまな防止策や虐待を受けた児童への対応を行っている。宮崎市子育て支援課と中央児童相談所への聞き取りから、改善できる点がいくつか明らかになった。

- 啓発活動をより強化し、市や児相の取り組みを広く認知させる
- 問題を抱えた親を孤立させないための対策を行い、虐待を防止させる
- 市と児相の連携を強化し、対応をよりスムーズにする
- 里親希望者と子どもとのマッチングを促すため、里親制度を見直す（現状では、里親登録者数に対して実際の受け入れは3分の1ほど）
- 設備や人手の不足を解消するため、増員・見直しを行う

さらに、大学生である私たちにもできる取り組みとして、正しい知識の理解や支援などの活用、募金活動などの学生ボランティアへの参加・立ち上げ、ソフトバンクの「チャリティスマイル」をはじめとする企業の取り組みへの参加を挙げた。

5 自治会活性化のために ～情報不足の改善策～

〈課題〉
宮崎の活性化のためには自治会から活性化していくことが重要だと考えた。自治会の情報をより周知し、自治会を活性化するにはどうしたらよいか。

まずは地域のイベントに参加してみよう! 参加してみよう!

〈解決策〉
宮崎公立大学1年生157名に対して行ったアンケート調査によると、ほとんどの学生が自治会に関する情報を持っていない。しかし、情報を持つ学生の少数は、チラシで情報を得ていることが明らかになった。自治会加入を促すチラシを改善することにより、より情報を広めることが可能なのではないだろうか。具体的には、幅広い年齢層に受け入れられるようにシンプルなデザインにし、「自治会とは何か」が分かる情報を挿入、さらにはアクセスが属する自治会HPに誘導するQRコードを掲載したチラシ案を作成、提案した。今後は、若い人からお年寄りまで、誰もが自治会の情報にアクセスしやすい環境を作っていくことが重要ではないだろうか。



各発表の合間には、聞き役となる学生からの質問が飛び交う



熱心に耳を傾ける学生たち

宮崎を神話で盛り上げよう!



〈課題〉
宮崎県内で言い伝えられる「神話」に着目。今後、神話を活かしてどのように宮崎をPRすればよいか。

〈解決策〉
アンケート調査の結果、他県民に神話のイメージが浸透していない現状が明らかになった。そこで、他県の取り組みを参考として、4つの提案をした。

①若い女性をターゲットとし、癒やし(南国)とパワースポット(神話のイメージ、神社など)という双方が融合したイメージで集客を狙う

②集客を促す目的を「宮崎のみ」に限定せず、南九州全体で協力してPR活動を行う

③宮崎県内から県外にかけての交通網をより充実させる

④宮崎県民の神話に対する認知を高める

〈行った調査〉
○インターネットや文献によるリサーチ
○twitterアンケート(回答数234名)
○宮崎市観光協会へのインタビュー



神話で宮崎をもっと活気づけましょう



Congratulations!

1位のチームには記念品が贈呈されました

研究発表を終えて...
最優秀チームの一人、樋口朝来波さんに話を聞きました。

Q「神話」に着目したのはなぜ?

A 講話では「宮崎II神話」というイメージが広く浸透していることを前提としていますが、県の県外出身者は宮崎に来るまで神話のイメージを持っていませんでした。そこで、宮崎の神話を県内外へ広めることで、文化財保全や伝承を支える活動が一層増えていくのではないかと考えたからです。

Q 研究で苦労した点は何か?

A 一番大変だったのは、限られた時間や発表媒体で「どうすれば自分たちが調べたことや主張の確に伝わるか」を考えることでした。また、宮崎市観光協会に取材する際、質問内容を考えるのが難しく、スケジュールが大幅に遅れてしまいました。

Q 楽しかった点は?

A 班のメンバーはみんな出身県がバラバラで(宮崎・大分・佐賀・広島、それぞれ違う視点に立ってイメージを出し合う)ことができたのは面白かったです。さらに、担当の先生にご指導いただきながら、発表でどんな画像を

察した。
島根県は、女性観光客をターゲットとして縁結びやパワースポットと関連付けて『出雲大社』をアピールしている。これを参考として、同じく若い女性をターゲットとし、癒やし(南国)とパワースポット(神話のイメージ、神社など)という双方が融合した形で集客を狙ってはどうか。

古代における「日向」は、鹿児島県熊本県南部を含む南九州全体のことであるとされ、なかなか「宮崎II神話」というイメージが定着しにくい。「宮崎」だけに集客を促す目的を限定せず、南九州全体を合わせてPRしてはどうか。

神楽の後継者不足などをはじめ、県内の人々の関心の低さも問題であると考へた。「記紀編纂1300年記念」についての県内TV番組を増やしたり、現在宮崎駅前や宮崎県立図書館に設置されている日向神話や神楽に関するブースを、若者の集まりやすい大学内やショッピングモールに設けるなどの取り組みを行うはどうか。

使って説明すれば聴く人に興味を持ってもらえるかを考えるのはとても楽しかったです。
Q 研究を通して学んだことや発見したことを教えてください。

A 異なる意見を出し合って一つのものを作り上げる難しさと達成感を味わうことができました。個人ワークとは違い、班の足並みが揃わなければ作業が進まないという大変さはありますが、自分にはない考え方を知る機会にもなり、グループワークの重要性を知ることができました。また、自分が「物事をいかに魅力的に人に伝えるか」を考えるのが好きだということに気づきました。

Q 今後また「宮崎のPR」をテーマに研究をする機会があるとしたら、どんな課題に取り組みますか?

A 宮崎は野球やサッカーのキャンプ地として有名ですが、それ以外にも、2020年の東京五輪のために宮崎の海をサーフィンの競技会場にしようという計画があります。宮崎の気候と風土を生かした「さまざまなスポーツ会場としての宮崎」をPRするための研究がしてみたいです。

地域の方のコメント

見事1位になられた皆さん、おめでとうございます!「宮崎市の文化財行政」と題した講演から、神話を切り口に研究を進められた発表でしたが、記紀編纂1300年の現在に適した題材だという印象を受けました。「南国イメージと神話のイメージが噛み合っていない」との課題設定から「癒しとパワースポットの融合」という解決策を導き出された点は、私たちの業務にヒントをいただいたように思います。ブームで終わらせない課題解決に向けた今後の地域研究にご期待申し上げます。

宮崎市教育委員会文化財課 主査 上口 将生さん
講話実施者

7 大学生とスポーツ ~マラソンイベントによる宮崎市内活性化~



マラソンイベントのイメージアップを図ります!

〈課題〉
宮崎の成人男性における肥満者割合は全国ワースト2位。高校2年生から成人にかけて肥満者の割合が激増していることから、大学生の時期に運動に対する意識を高める必要があると考えた。

〈解決策〉
今回は運動の中でも「マラソン」に着目。関心を持ってもらうきっかけにもなる「マラソンイベント」の参加率をどのようにして向上させるかを考えた。

その対策として、祭りやライブコンサートなど、比較的参加率が高いイベントと関連付けてマラソンイベントを展開すれば、参加率UPにつながるのではないかと考えた。(例:アーティストライブを取り入れるなど)さらに、マラソンに対して「疲れる」などのマイナスイメージを持っている人が多いことから、イメージアップ戦略を練る必要があると考えた。

若者の今の指向を取り入れ、インスタグラムコンテンツを組み込んだり、「疲れる」ことへのアフターサービスとして、当日温泉券やマッサージ券を配布するなど参加者特典を充実させるなどの解決策を考案した。

8 宮崎野菜活性化計画



野菜が主役の「アミューズメント施設」を作ります!

〈課題〉
宮崎の「食」といえば、地鶏や宮崎牛など、県産肉のイメージが強い。一方で野菜については全国トップレベルの生産量を誇る宮崎だが、その認知度はそう高くない。県産野菜を県内外に向けてさらにアピールしていくにはどうすればよいか。

〈解決策〉
県産野菜をアピールすることを目的とした「アミューズメント施設「Miyazaki VEGEtable Garden」」を考案し、提案した。施設内には、野菜を育て、収穫体験もできる「ビニールハウス」、「食べる」以外の野菜の楽しみ方を提案する「クラフト教室」、マッサージ付きできゆうりバックができる「リラクゼーションルーム」、その他レストランや温泉、バーベキュー広場など、楽しみながら野菜に親しんでもらえるサービスが充実している。幅広い年齢層にアプローチし、宮崎の「食」のイメージとして広く認知されている県産肉と組み合わせ売り込むねらいがある。修学旅行の受け入れ施設や観光地として、県内外の多くの人々に野菜を楽しんでもらえるのではと考えた。

教員の視点 基幹演習のねらいとは?



梅津 顕一郎 准教授
専門は社会学。1993年中央大学大学院博士課程後期単位取得満期退学。中央大学非常勤講師、呉大学准教授を経て、2008年から現職。

大きな目標を見据えて、まずは地域の人に学び、しっかりととした基盤を築きたい

国際社会・地域社会が年々複雑さを増し、様々な課題解決が求められる中、本学でリアルアーツを学ぶ学生には、その解決策をしっかりと考えていくための高度な知的能力と見識を身につけてもらいたいと考えています。本演習は、その礎となるスキルを学ぶことを目的として、2年生を対象に開かれる演習です。テーマ上、誤解されがちですが、この演習そのものは「地域貢献」ではありません。あく

本演習で学ぶ3つのポイント

- ① 論理的思考、情報収集力、情報整理能力などのアカデミックスキル
- ② ディスカッションなどを通じたアカデミックなコミュニケーションスキル
- ③ チームワークや責任感などの社会人スキル

まで、まだまだ未熟な学生が「地域に学ばせていただく」、大変貴重な機会です。地域の方をお招きした講話でスタートラインに立ち、本演習を通じて学生がどれだけ地域のことを考えられるようになったか。全体発表会は、そこを皆さんに見ていただく場なのです。

専門ゼミに所属する3年次以降、学生はめざましく成長します。だからこそ2年次には、論理的に考えたり、自分の視点から見えたモノを的確に表現したり、それを他者とぶつけ合うことでより良いアイデアを生むチカラを鍛えておく必要があります。建学の理念・目的にあるように、本学は「地域に根ざした大学」として地域貢献を推進しています。個人としては、ゆくゆくは専門ゼミで学んだ専門的な知識を交えながら、地域に貢献できるような本格的な提言ができるまでに成長して欲しいと期待しています。

それに加え、本学の学生のうち県外出身者は約6割。地域の課題に取り組むことをきっかけに、宮崎のことをより深く知ってもらうことも、本演習の重要な目的の一つなのです。

3年生



岩田 梨瑚 Riko Iwata

あなたにとってMMUとは?

グローバルな人間としての活動の原点

3年次にスターリング大学への公費留学を経験。

これから留学をしようと考えている人にアドバイスをお願いします!

まず、留学の目的は、しっかり自分の中で明確にしてから行ってください。

私は、大学1年生の頃"留学に行く"ということが大学生活のゴールとなってしまっていて、「何のために行くのか、何を学びたいのか」があやふやでした。しかし留学の目的を決めてからは、目指す留学先や留学の内容もガラッと変わりました。私の目標は教育水準の高いスターリング大学で国際マネジメント(経営)の学位で正規単位をとること、社会保障制度の進んだイギリスに実際に住んで学ぶこと、異文化の環境に身を置いて専攻である異文化コミュニケーションの理解を深めることでした。もし目的もあやふやなまま何となく留学していたら、私の留学生活はここまで実りのあるものにはならなかったと思います。

留学は自分のゴールに到達するための1つの通過点に過ぎず、目的を見失ってしまえば何も得ることはできないと思います。

そして母国である日本はもちろん、留学先の国を愛してください。留学した先では、あなたは日本代表です(笑)。自分の国に誇りを持ちつつも、留学先の国に敬意を払い、その国のことを大好きになって帰ってきてください!

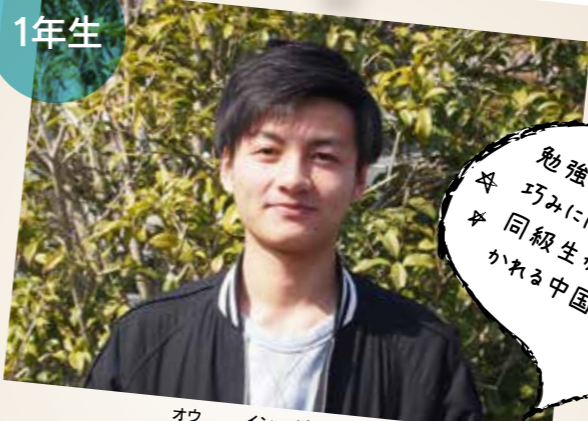
MMUで何を学んでいますか?

私が専攻している異文化間コミュニケーションでは、日本と様々な国の文化比較・文化背景にある実情の分析など、グローバルな環境で生きていく上で重要とされる多様な"文化"について勉強しています。

この1年間でどんな活動をしましたか?

ダッカー先生のSA(student assistant:先生の講義の手伝いを行うもの)や、NPO法人の学生団体としてインターンシップ事業に携わりました。また、熊本の崇城大学で行われたJALT学会で自分の研究内容を発表、さらに大阪で模擬国連大会に参加しました。昨年の9月からは公費留学(スコットランドにあるスターリング大学のビジネス経営学部にて勉強)に行くなど、内容の濃い1年でした。

1年生



王 允彬さん Wang Yun Bin

あなたにとってMMUとは?

これからの私の人生を輝かせてくれる場所

勉強、部活、バイトを巧みに両立。同級生からも一目置かれる中国留学生。

MMUで一年間過ごしてみてどうでしたか?

1年間の公立大生活はとて自由で楽しかったです。大学生になって初めてのことにいろいろチャレンジしてみたいと考え、アルバイトとサークル活動に積極的に参加しました。また、公立大で気の合う友達がたくさんできて、夏のキャンプやサークルの懇親会、旅行など、充実した大学生活を送ることができました。

在学中に成し遂げたいことを教えてください

私はこれまで、「将来何をやりたいのか」という具体的な目標を持たずに毎日過ごしてきました。しかしこの教育資源が充実したMMUでなら、きっと自分がやりたいことが見つけられると信じています。

この一年間で頑張ったことは何ですか?

一人暮らしの生活費などを自力で支払うことです。大学に入ってから親に頼らず、できるだけ自立しようと決めました。今では、毎月稼いだバイト代で家賃などの生活費を支払うことができようになり、達成感を感じています。

宮崎公立大学=MMUって何? どんなことをするの? 何を学べるの? 学生にとってどんな場所なの? 様々な疑問に、MMUでキャンパスライフを送る学生に答えてもらいました。

MMUって何?

あなたにとってMMUとは?

生きる指針を与えてくれた「コンパス」

Emiri Nakamura

4年生



中村 恵美梨

中国文化論ゼミ所属/鹿児島県立鹿屋高等学校出身

優れた中国語のスキルと誠実さで学年を問わず尊敬される存在。

この一年で何を学びましたか?

前期はやはり留学で学んだことが大きいです。恵まれた留学制度と、しっかりした中国語の教育体制のおかげで安心して留学できました。週一の授業をはじめ、サポートタイムや語学講座などの課外活動で、先生や先輩のバックアップのもと、着々とレベルアップできました。

後期は、留学で学んだことを自分が語学講座やサポートタイムで指導する側へ回り、自分の経験や中国語学習のノウハウを後輩たちと共有できました。また、帰ってきてからゼミで自分の卒業研究のテーマに関する文献を読み、知識を深めることができました。

大学生活での一番の収穫は何ですか?

"学ぶ"姿勢です! 入学する前までは、勉強といえば受験勉強で、先生から与えられた課題を受動的にこなすことの繰り返しでした。入学してからは色々な先生や先輩と出会い、また異文化実習等で外の世界に触れて刺激を受けたことで、「世の中や人の生き方についてもっと知りたい!」と思うようになりました。学ぶことは何か、本当の意味で知ることができたのが、この大学で得た収穫のひとつです。

新入生に向けてアドバイスをお願いします!

自分の属するコミュニティを限定せず、色々なバックグラウンドを持った人と関わることをお勧めします!

10人いれば10通りの生き方があり、彼らが与えてくれるのは自分の生き方のヒントとなり得るものです。学生のうちに学内外や異なる文化圏の人と関わり、彼らとの関わりを通して自分の生き方を時間をかけて模索できるのも、学生であるうちのかな、と思います。

この1年、どんなことをしましたか?

凌雲祭運営や専攻するゼミ選択など、多くのことを経験しました。悩んだりもしましたが、友達と出かけたり、興味のある分野の勉強をしたり、楽しく過ごしていました。2年生になって時間にゆとりができたので、バイトにも励みました。

凌雲祭を通して学んだことは何ですか?

1つ目は、あらゆる事態を想定し、臨機応変に対応することの困難さと大切さです。何を優先し、何を割愛するのかという判断がとにかく大変でした。2つ目は、自分の考えは声に出さないと伝わらず、また声に出しても伝わらないこともあるということです。これは前に立つ仕事に限らず、普段のコミュニケーションにも共通していえます。普段から「どやったら相手に伝わるか」考える癖をつけたいです。

凌雲祭で得たもの、やりがいを教えてください! ステージイベント局は外部団体とのつながりが多く、イベントに参加するゲストについて専門家の意見を聞きつつ仲介業者と話し合うなど、貴重な社会経験ができました。凌雲祭を通して知り合う先輩・後輩や、普段ならかかわる機会のない方々と学祭を創り上げることで、人脈が広がります。

2年生が主体となって運営する大学祭「凌雲祭」でステージイベント局長に抜擢。

2年生



南里 政人

佐賀県立小城高等学校出身

あなたにとってMMUとは?

進路や生き方、人間関係について悩む場所



!!Pencil!!



有馬 啓太 1年

読書が好きで、色んなジャンルの本を読みます。人と違ったことが好きなので、鉛筆をよく使っています。オススメです!

His name is **ichiro**

Creative



中村 穂乃花 2年

ペンケースとポーチはおばちゃんの手メイドでお気に入りです。本革の手帳にはスケジュール以外にイラストも書き溜めています!

Simple is best!!



山本 正也 2年

基本的にシンプルなものが好きです。特に気に入りのBeatsのワイヤレスイヤホンでよく音楽を聴いています。無印良品の手帳は使いやすいのでオススメです!

Cute!



今井 美紗 3年
情報デザイン科

COACHのお財布は成人祝いで貰いました。今はピンクのものが多いけど、次はシンプルなものに挑戦したいと思っています!

学生企画 2!

WHAT'S IN YOUR BAG?

大学生のバッグの中身ってどんな感じ!?
宮崎公立大生のバッグの中身を覗いてみました!

Cool!



角 珠美理 2年

iPhoneケースの羊を一郎君と名付けて、大切にしています。お財布は両親から誕生日プレゼントで貰いました。メガネケースは100均で一目ぼれして購入!



佐土 原寛 4年
国際経済学部

もうすぐ社会人になるので手帳とお財布は黒にしてみました。飲み物はいつもカフェオレです。

I love pink



川原 綾乃 3年
教育心理学専攻

kate spadeのペンケースは、カナダの異文化実習の時に購入しました。ハンドクリームとDior LIP MAXIMIZERは冬場の必需品です!

LOVE RAMUNE



米良 桂太 3年
経済学部

NIVEA MENで保湿しています。ブルドッグのキーホルダーは友達から誕生日プレゼントで貰いました。お菓子のラムネが大好きで、よく持ち歩いています。

Memories...



渡邊 凜 1年

ペンケースとお財布は高校生から、ティッシュケースは小学生からずっと使っています。お気に入りのものはずっと長く使います。

山下 皓太 2年



2016年の8月~12月、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジにMMUで初めて公費留学した4年生の林田愛里さんにインタビューしました。



刺激だらけの5カ月間

ダイヤモンドヘッド山頂からの景色

Q. どうしてハワイにある大学に留学しようと思ったのですか？

フラダンス部に所属しているのですが、活動を通してハワイの文化に興味を持つことがきっかけです。あと、異文化間コミュニケーションゼミで世界の文化について学んでいたこともあって、観光地として有名なハワイが、実際はどんなところなのか気になっていました。

Q. 留学先での勉強、生活は？

英語、フラダンス、ハワイ文化、趣味の音楽を学修していました。授業はもちろん英語で行われるのですが、ハワイ文化の授業では、ハワイ語が飛び交うことがあったのでポカーンとなることもありました(笑)。

学校が早く終わった日には、海とショッピング街が近かったので浜辺をぶらぶらしたり、買い物をしたりしていましたね。「よくテレビで観る場所だ!」って感じてました。よくハイキングもしていました。手軽に登れる山からの眺めが絶景なんです!



ハワイ色満点のカルアポークバーガー

Q. 留学して良かったと思うことは？

1つは、今まで当たり前だと思っていたことが、当たり前じゃないということに気付けたことです。8月に留学生向けにオリエンテーションがあったのですが、そこにいた日本人と話してみると、高校を卒業して来ている人が多いことに驚きました。留学は大学生になってするものだと勝手に思っていたんです。選択肢っていくらでもあるんだなって感じましたね。

もう1つは、人との出会いです。興味本位でホストファミリーの日曜礼拝について行っていたのですが、そこで日系人の家族と仲良くなって夕食に誘ってもらったり、いつも同じバス停で会うおじさんと仲良くなったりと、人を受け入れてくれる風土、人の温かさに触れられて感動でした。

Q. これから留学を目指す後輩にアドバイスをお願いします。

公費留学以外にも留学する方法はたくさんあるので、留学したいという気持ちが少しでもあれば、迷わずに行くことをオススメします。私も海外に出てみて、色々な人に出会ってたくさんの刺激を受けました。ぜひ、チャレンジしてください!



4年生
林田 愛里さん
Airi Hayashida

異文化間コミュニケーションゼミ
宮崎県立宮崎大宮高等学校出身



MMUの教員が、講義では垣間見ることのできない「頭の中」を語ります。

“行政マン”と“研究者” 二足のわらじで駆け抜けた20余年

私は教員になる前の20余年、地元・鹿児島県で公務員として働いていました。学生だった当時、「文系は大学院へ行っても就職がない」といわれていたこともあり、大学卒業後、一度は就職する道を選んだのです。それでも在学中に書いた論文が懸賞論文に入選したことで、発見する喜びと達成感が心に染みついては、社会に出てからも、公務の中で目の当たりにした問題などを題材に論文を書き続けました。その後も働きながら30代後半で学会に入り、大学院に通い、40歳を過ぎた頃に修士学位を取得しました。

仕事と研究を両立するのは、体力的にかなり厳しいことです。しかしどれだけ忙しくても、論文を執筆している時は心底楽しかった。その理由は何と言っても、「研究が好きだったから」。その一言に尽きるでしょう。

当初は「定年したら大学の非常勤講師でもしよう」と考えていたものの、そんな生活を続けるうちに「研究一本で暮らしを立てたい」という思いが膨らみ、2004年、二足のわらじを脱いで第二の人生を踏み出すことを決めたのです。

学生時代の「発見」を 一生かけて突き詰めること

MMUはリベラルアーツ、つまり「幅広い教養のもとに、ある一定の専門性を深める」プログラムに取り組んでいます。本学の学生には、その中で自分が最も興味を持てるものに出会い、在学中はもちろん、卒業後も継続してその分野を追いかけていって欲しい。これから訪れるAI(人工知能)時代においては、自分が好きなことを仕事にしている人が一番強いと思うのです。例えそれが叶わなくても、コツコツ続けてさえいれば、いつかきっと花が咲くはず。自分では想像もできなかったことすら、起こりうるのです。まさに今の私のように(笑)。

地域にとって存在感のある大学へ 学長としての責任と、これから

一般的に、研究者ないし大学の教員は、論理を積み上げて説明するタイプの人が多い。かく言う私も、もちろん研究においてはその方法を探ります。しかし、学生に講義する時やメディアでコメントする機会をいただいた時には、「分かりやすく、短いフレーズで」をモットーにし、折を見て、大学の良さや学生の魅力を伝える努力をしています。まずは、より多くの人にMMUを知ってもらうところから、私にできることをしていこうと。

さらに、“人”をしっかり育て、地域に還元する。この2つを両立していくことで、地域にとって「存在感のある大学」を目指したいと考えています。



自分の興味を地道に追いかける そうすればいつか、花開く

| 学長 | 有馬 晋作
SHINSAKU ARIMA

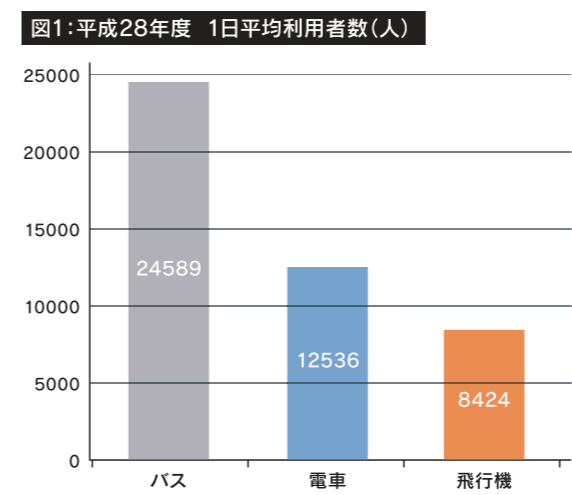
ありま・しんさく / 専門: 行政学・地方自治論。1955年鹿児島県生まれ、明治大学経営学部卒。卒業後は鹿児島県庁に勤務しながら鹿児島大学大学院法学研究科修士課程修了。同大学院人文社会科学研究科博士後期課程単位取得退学。2004年より本学に着任。2015年博士(学術)取得。2017年4月、学長に就任した。

ラッピングバスの可能性を活かして



宮崎県では現在約40種類のラッピングバスが運行しており、県民であれば誰もが一度は目にしたことがあるだろう。ラッピングバスとは、車体の外側に広告を提示して運行するバスのことである。

今回私たちのゼミでは、宮崎市のラッピングバスの現状について調べた上で、今後の活用方法について「リーチ」と「ターゲティング」に着目して考察していく。



出典:平成28年度版統計書と宮崎空港新興協議会の資料をもとに著者が作成

宮崎市のラッピングバスの現状

宮崎市のバスの利用者は、一日当たり24589人。次いで、電車(12536人/日)飛行機(8424人/日)の順に利用者数が多い(図1参照)。

他の公共交通機関と比較してみても、バスの利用者は最も多い。そのため、バス広告のリーチも高いといえる。さらにターゲティングを行うことによって、より高い効果を見込める広告にもなるはずだ。

しかし、現在宮崎のラッピングバスは、リーチの高い路線を選択し、路線ごとに広告を変えたりなどのターゲティングが行われていない(平成30年1月宮崎交通インタビューより)。以上をふまえて、今回はバス単体の場合と、他の広告と組み合わせる場合に分けて、ラッピングバスの可能性を活かす提案をする。

提案① バス単体の場合

- リーチを高めるために
- より多くの人の目に触れるようにするため、左に示す路線と条件でラッピングバスを走らせてはどうか。
- ①乗客数の多い路線で走らせる
 (例)宮崎駅・宮交シティ・橋通路線
 - ②乗客数の多い時間帯に走らせる
 (例)通勤通学時間帯の朝6時~9時 夕方16時~20時
 - ③交通・通行量の多いエリアを走らせる
 (例)デパート前など
- ターゲティングをするために
- 下の図2にあるように、学校路線、空港路線など、路線ごとに予想される乗客に向けたラッピングバスを走らせることで、ターゲティングができるかと考えた。

図2:各路線と予想される客層に合わせた広告の例



提案② 他の広告と組み合わせた場合

強み

インパクトが強く、巡回することで多くの人の目に触れる

弱点

人の目に触れる時間が短く、たくさんの情報を伝えきれない

他広告で弱点を補えばラッピングバスの広告効果を最大限に発揮できる!

バスは常に巡回しているため、バスの外装における広告は見られる時間が短く、多くの情報をそれだけで伝えることは難しい。そこで、「メディアミックス」という手法を提案する。他の広告と組み合わせることによって、ラッピングバスだけでは伝えきれない情報を補完するだけでなく、人の目に触れる機会が増え、リーチ、ターゲティングともにも高めることができる。具体的には、車内広告、バスシェルターとのメディアミックスを提案する。

keyword
メディアミックス

様々な広告を組み合わせることでお互いの弱点を補う広告手法のこと

バスシェルター × ラッピングバス



バスシェルター広告とは、バス停に設置されている大型電子広告のこと。日本で唯一公道に設置を認められた大型広告媒体である。スクロール式・内照式パネルなどがある。全国に普及しつつあるが、宮崎市内で見かけることはない。このバスシェルター広告は、通常のバス停や広告付きバス停に比べ**広告を載せるスペースが大きく注目されやすい**。また、**多くの広告を掲載することができ、バスを待っている間も見られる**。

ラッピングバスと連動した広告を載せることで、広告内容への理解が深まる上、歩行者をはじめ、バス利用者や車利用者への訴求力もより大きくなるのではないだろうか。

車内広告 × ラッピングバス



- ①運転席後部額面ポスター
- ②窓上ポスター
- ③側部額面ポスター
- ④チラシ・冊子・パンフレット

バス車内には広告を掲載できる空間が多くあるため、バスの特性を活かしてリーチを高めることが可能である。バスの利用者は目的地に着くまで数分から数十分バスに乗っている時間がある。つまり、バス車内の広告は**利用者に対して長時間、広告内容を訴求することが可能**なのである。

例えば…
「飲食店の広告」の場合
 ラッピングバス→店名・料理の写真など
 車内広告→住所・HPのURL・メニュー価格など

研究後記

今回は、ラッピングバスの現状と課題についてリーチとターゲティングの観点から考察し、宮崎のラッピングバスの広告としての今後の在り方について提案しました。

私たちはこの1年間、宮崎のラッピングバス研究を行いました。当初は、宮崎交通や宮崎県景観課の方に何度も話を伺い、バスデザインの色と町の調和について考察を進めてきました。しかし、検討を進める中で景観としての調和と広告訴求という2つの相反する問題にぶつかり、今回提案したような視点にシフトして研究を進めていきました。資料がなかなか集まらず苦戦したり、自力でラッピングバスが何台運行されているのか一日中調査したりと、苦労も多くありました。私たちの提案が、少しでも宮崎の活性化に繋がればと思います。

最後に、ご協力いただいた宮崎交通株式会社の皆様、並びに宮崎県景観課の皆様、厚くお礼を申し上げます。



広告コミュニケーションゼミ3年

宮崎小説リレー (試走)



宮崎市内を描いた近現代小説をリレーしながら実際に舞台を巡ってみました。スタートは宮崎公立大学正門で、ゴールも同じ。今回は車移動だが、時間と体力があれば、ジョギングでも自転車でも行けるコースとして設定する。

まず、中心市街地に向かう。糸山秋子『逃亡くそたわけ』は、福岡の精神病院を脱走した若い男女が車で九州を縦断する話である。物語後半、椎葉村から険しい道を走り続けて疲れ切った2人がJALのホテルに泊まったり、山形屋で買い物したり、「本屋で雑誌を買ってからミスドに入ってコーヒーを飲んで」だっている。

そこから国道220号線を大淀川へ向かって少し行くと、川端康成『たまゆら』の冒頭で描かれる橋公園や宮崎観

光ホテルに到着する。晴れた日は小説の新婚夫婦と同じように、川岸に立つ夕映えを眺めることができる。

天満橋を渡りバイパスを走ると、安井息軒生家の案内板が見えてくる。安井息軒は清武出身の儒学者で、森鷗外『安井夫人』は息軒の妻、お佐代さんを描いた小説である。2018年2月現在、記念館では「安井息軒と西郷隆盛」が開催中だが、展示されている西郷札を題材にしたのが松本清張『西郷札』である。企画展終了後も佐土原歴史資料館に行けば西郷札の実物が見られる。

清武駅方面へ下り、県道13号線を東に進む。真保裕二『奇跡の人』では、事故で記憶を失った主人公が、実家に近い「南方駅」前のバス通りと清武駅を結ぶ街道ぞいに、宮崎第一中学校があるのを地図で見つ

け、母校ではないかと訪ねる場面がある(実は通っていないが、理由は小説を読ん で確かめてほしい)。

郡司分の交差点を左折し、県道367号線を北上すると宮崎空港に近づく。大石英司『神はサイコロを振らない』では宮崎発羽田行の飛行機が消息を絶ち、10年後に当時のまま羽田に到着する。

県道をさらに進むと南宮崎駅と宮崎駅がある。真保裕二『奇跡の人』の主人公は南宮崎駅近くの印刷所で働き、宮崎駅前の本屋で『坊っちゃん』を購入している。宮崎駅から江平方面に行けば、大学に帰り着く。

今回は市街を一周する30kmほどのコースになった。他に有力なランナー(小説)が出てくれば、コースの変更や延長を試みたい。

編集後記

初めて広報誌の制作に参加しました。4ページも携わることができましたが、たった4ページでもこれほどの時間と様々な人のお力で出来上がったというのだと、とても感じました。短い間でしたが、貴重な体験ができました。ありがとうございます。

学生記者 嘉悦佳恵(2年)

今回は企画・取材・原稿作りに携わりました。それを通じて、制作者の視点で情報の取捨選択やレイアウトを考慮することができ、受け手に分かりやすい媒体を作る難しさを実感しました。MMUSHIPの編集に携わることができ、とても光栄でした。

学生記者 新町智那(2年)

私は時々、本屋さんに立ち寄り雑誌を読みます。1ページを作るのにどれだけの人に関わり、時間をかけて丁寧に作られているのか。広報誌作成に携わる事で、少しだけ実感できました。ぜひ見る側と見せる側両方の視点から、改めて眺めてみてください！

学生記者 遠近日和(2年)

とても貴重な体験をする事が出来ました。一つ一つのを作り上げる大変さを感じると同時に、実際に写真を撮ったりレイアウトを考えたり、取材をする楽しさや身をもっと知る事が出来ました。これを読んでMMUのこともっと知って頂けると嬉しいです。

学生記者 山本明穂(2年)

今回MMUSHIPの取材・執筆に関わらせて頂いたことで、自分自身まだまだMMUについて知らないことがかなりたくさんと実感しました。人脈や発想力なども2年生の先輩方に全く及ばずでしたが、楽しく制作することができ本当に良い経験になりました。

学生記者 森山沙良(1年)

今号は初の試みとして、プロの方の協力を仰ぎ、「ならではの視点から、彩りを重視した紙面を制作することができました。また、公式ウェブサイトとの連動企画も企画ありますので、あわせてお楽しみください！本誌が多岐の方々の目に触れることを祈念して。

職員 荒木健次



CIRCLE de GOSHIP

MMUの部・サークル等に関する噂の真実を調査。

吹奏楽部が観客いないのにコンサートを行っている!?

人々に感動や元気を与える吹奏楽。お客さんがいてこそこのコンサートははずなのに、無観客って一体どういうこと?



第24代部長の安倍志奈さんを直撃しました!

単刀直入にうかがいますが、お客さんがいないのにコンサートを行って本当ですか? (安倍さん、以下☞) 無観客でコンサートを行っているのは本当です。ただ、お客さんがいないじゃなくて、入れてないんです(笑) えっ!? 何のために? お客さんに演奏を聴いてもらうのが、吹奏楽じゃないですか? ☞もちろん、演奏を通じてお客さんに感動を与えることを目標にしていますが、このコンサートだけは違うんです。このコンサートって? ☞卒業する4年生の先輩方を送り出す「追い出しコンサート」です。先輩たちの思い出の曲を1~4年生全員で演奏するんです。なるほど、でもなぜ観客なし? ☞大切な先輩、そして仲間たちとの演奏そのものを心から楽しむためのコンサートだからです。そうだ、来週が本番なのでぜひ見に来てください。

というわけで当日、会場の講堂にやってきました。



本番に向け練習に励む現役部員たち



思い出が詰まった10曲を演奏。「演奏を通じて先輩方の想いが伝わってきました。その想いを胸に集大成となる最後の年を過ごしていきたいと思います」(安倍さん)

最後は4年生から笑いあり、涙ありのメッセージ。「吹奏楽部は学生生活の一番の思い出です」「音楽だけでなく、運営や企画などさまざまな事を学びました」



メッセージ message

じつは、今春1年生が入部してくれなければ新年度の部の存続が危ぶまれる状況なんです。演奏会での達成感とお客さんを感動させるよごびは何物にも代えられないものがあります。経験・未経験は問わないので、大学生活を充実させたいという方はぜひ一度見学に来てください!

吹奏楽部やコンサートの様子を紹介する動画はココから!

教えて! 吹奏楽部

Qメンバーは?
2年生8名、1年生1名の計9人です。

Q練習は?
火曜、木曜、土曜の週3回。3~4時間ほど行っています。

Q発表の場は?
定期演奏会のほか、入学式や慶賀祭などの学校行事で演奏しています。県外の演奏会に参加することもあります。

Q音楽未経験者でも入部できる?
未経験者でも先輩が1対1で教えてくれるので心配ありません。今いる9人のうち4人が初心者なんですよ。

MMU NEWS MMUの最新情報は、公式ウェブサイトでもご確認ください。

9/23 (土・祝) **プチ★キャンパスガイド 開催**

今年度2回目のオープンキャンパス。夏に予定していたキャンパスガイドが台風で2度も中止となるハプニングもありましたが、今回は保護者の皆様を含め約300名の方にご参加いただきました。

9/27 (水) **宮崎公立大学名誉教授の称号授与式開催**

故 林弘子前学長と中山本文元教授に対し、名誉教授の称号を授与しました。林義啓氏(林前学長の弟様)にご出席いただき、田原健二理事長および部局長同席のもと、有馬学長から林氏に証書が交付されました(中山元教授は都合により欠席のため、郵送にて交付)。

11/5 (日) **平成29年度 保護者説明会実施**

本説明会は、宮崎公立大学の教務、学生生活支援、派遣留学、就職状況等について保護者の理解を深めていただくとともに、保護者の個別具体的な疑問解決や不安解消を目的として開催するもので、当日は200名近い保護者の方にご出席いただきました。午前中の全体会では、大学の授業に関することや留学制度、奨学金等の学生生活支援制度および就職・進路に関する説明が行われ、午後からの個別相談会では、全体会では聞けなかった細かい点について、個別ブースにて熱心にご質問いただく保護者の方が多く見受けられました。



未来の
コンパス
Compass

社会で活躍するMMU卒業生に社会人としての近況を語っていただきました。

恐れず一歩踏み出す チカラ。



JX金属株式会社

井伊 菜月さん

Natsuki Ii

平成24年度卒業生 中国文化論ゼミ

心越くまに 動き続けたMMU時代

在学中に2度中国に渡り、早稲田大学の大学院でも北京大学への留学を経験した井伊さん。中国への並々ならぬ関心は、MMU入学をきっかけに培われました。

「英語を使う仕事をする」という夢実現のため、実用的な英語を身につけたいとMMUに進学。しかし2年生の夏、中国・蘇州大学からの留学生パートナー制度(※)に立候補したことが転機となり、たちまち中国語の美しい「音」に魅了され、『中国文化論』ゼミを選択しました。

「担当教員だった田宮先生は、学生一人ひとりに熱く丁寧に指導してくださる方。私に2度目の留学を勧めてくださったのも先生です。卒業した今でも、足に向けて覆られませんが(笑)」。

短期留学を経て、3年次には1年にわたる公費派遣留学へ。卒業研究の実地調査のため、ロシアやベトナム、北朝鮮との国境にたった一人で足を運ぶなど、「とにかく楽しく、充実した毎日だった」と井伊さんは振り返ります。「中国に対して『コミコミしている』などのネガティブなイメージを持っている人も多いのですが、決してそんな側面ばかりではありません。人は情に厚くて優しいし、食事もおいしい。訪れる度に、心が洗われるような気持ちになります。大学院に進学したのも文化だけでなく政治や外交についての理解を深めたかったから。本当に、中国が大好きなんです」。

今も中国への思いを絶やさず 世界に誇る技術力を持つ会社へ

スマートフォンやタブレット、液晶テレビなど、さまざまな電子機器で使用される「圧

延銅箔」の製造を手がける「JX金属株式会社」。井伊さんが勤務する事業所・倉見工場神奈川県は、世界最薄5μ(マイクロm)の圧延銅箔を製造できる世界唯一の工場です。

社員がみんな生き生きと働く様子に引かれ、加えて中国に事業所を持っていたことが決定打となり、2016年に入社。現在は、人事や採用を担当する総務部総務課に所属しています。上司や同僚に恵まれ、慣れない業務にもまれながらも、やりがいを感じているそうです。

「ゆくゆくは中国語を使う業務、例えば営業として、中国の顧客と関われる機会があればいいなと思っています。中国から取引先企業の訪問がある時には、自ら通訳を申し出るなど、積極的に会社にアピールするようにしています」。

今こそ活動的な井伊さんですが、以前は内向的な性格だったそう。MMUで外国人とコミュニケーションを取る機会に恵まれたことで、自分がガラリと変わっていくのを実感したと言います。座右の銘は「やらない後悔より、やった後悔」。在学生へのメッセージを聞くと、自身のこれまでの経験から、「迷った時は、勇気を出して一歩踏み出してみたい」と力強く話してくれました。

※留学生と一緒に出掛けたり、授業を受けたりなど、公私を共にして、支援する制度

JX金属株式会社

1905年創業。JXTGホールディングスの中核事業会社。電子機器に使用される銅箔や化合物半導体などの非鉄金属製品の製造・販売及び環境リサイクル事業を展開。世界トップクラスの技術力・生産能力で、業界で高い製品シェア率を誇る。

- 国内生産拠点および海外事業拠点 / 国内17ヶ所、海外23ヶ所
- 正社員数 / 2,700名